

2023 年 2 月 13 日

2023 年 1 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参テキストの動きも見られたが、全体的には低調で仕事量の減少もあり前年を下回った。

巻取は学参テキストやチラシに動きがみられ前年を上回った。

（前年比 平判 90.5% 巻取 107.4%）

再生紙平判は入札案件の受注減少が続いている上、在庫が全体的に不足気味のため前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は前月に引続き大口案件の受注があり、前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 49.1% 再生上質巻取 163.5% 再生上質計 90.3%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 93.3%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 79.9%）

<A2 コート>

平判はインバウンド効果による旅行パンフ、観光地チラシの動きがあった。また、イベント、不動産チラシにも動きがみられ、グロス、マット共に前年を上回った。

巻取はスーパー、ドラッグストア、金融、教育、デリバリー関連チラシの動きが鈍かった。また依然として雑誌においては落ち込みが続いており、グロス、マット共に落ち込んだ。特にマットは大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 102.5% 巻取 84.3% 全体 98.2%）

（2019 年比 A2 コート計 79.6%）

<A3 コート>

学習塾、スーパー、量販店、ドラッグストアの定期的チラシ案件、イベントのスポットチラシ案件で動きがみられたが、巻取は前年を下回った。

（前年比 平判 100.4% 巻取 97.0% 全体 98.1%）

（2019 年比 A3 コート計 74.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は生損保の細かい案件はあったものの、民間の手書き帳票の動きは鈍く、

巻取は新年度分傷害保険の帳票の web 化が進み、部数が大幅減少となり

巻平共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 87.8% 巻取 82.3%）

<上質フォーム>

官庁、自治体の納付書の動きや旅行業界の通知物などの動きは出てきたが、民間は金融、生損保含め引き続き低調な動きで前年を下回った。

(前年比 93.0%)

<包装用紙>

特殊両更は役所向け、一般封筒の動きが全くみられず前年を大きく下回った。

(前年比 61.5%)

軽包装は雑包装用途で一部動きがあったものの全体的に低調で前年を下回った。

(前年比 81.3%)

片艶晒は全体的に動きが見られない所に供給不足も相まって前年を大きく下回った。

(前年比 62.4%)

両更晒は封筒、手提袋など全てにおいて回復がみられず前年を下回った。

(前年比 92.1%)

純白ロールは国内需要、インバウンド需要の回復により、土産、菓子の包装紙に動きが見られており、前年を大きく上回った。

(前年比 150.9%)

包装紙全体でも 96.0%と前年を僅かに下回った。

<板紙>

コートボールは食品、菓子、日用品向けに動きがみられるものの、土産物、医薬関連は一段落。高板はファミレス向けのメニューに動きがみられたが、出版、POP 向けは低調であった。特板はファストフードやコンビニ向け一次容器、冷凍食品トレーが好調であった。チップボールはエンタメ向け、貼箱向けに動きが見られたが、出版向けは低調であった。

全体では前年を上回った。

(前年比 111.7%)